

質問方式 一問一答 質問時間 10分

質問事件	質問の要旨
政治姿勢問題	<p>1. 市長マニフェストについて</p> <p>先の市長選では市民に信任され無投票となったことから、マニフェストが市民に浸透しておらず、また、目標達成のための具体的方策についても不明な部分があることからマニフェストのうち、次の点について伺う。</p> <p>(1)「子育て支援」では、合計特殊出生率を1.78から2.00に、婚姻率を4.8から6.2にそれぞれ引き上げとなっているが、具体的方策について伺う。</p> <p>(2)「雇用の場」では、中心市街地の歩行者数を、1日当たり153人から408人に増加させるとしているが、具体的方策について伺う。</p> <p>(3)「共生社会」では、町内会加入率を57%から70%に引き上げとなっているが、具体的方策について伺う。</p> <p>2. 県との連携について</p> <p>新知事が就任し、青森新時代へ向けてマニフェストを実行していくものと期待をしているが、マニフェストの中には「市町村との連携強化」として市町村長とのホットラインを開設し、日常的に課題を共有し解決に向けていくことが掲げられている。今後においては、県と協働したスピード感ある対応が求められるものと思われ、そのためには、組織を含めた体制づくりが必要になるものと考えられるが、県との連携強化のための取り組みについて、市長の考えを伺う。</p>

質問方式 一問一答 質問時間 20分

質問事件	質問の要旨
行政問題	<p>1. お悔やみ窓口の開設について</p> <p>本市においてはお悔やみ窓口の開設に向けた検討を進める中、先行してお悔やみハンドブックを作成していただきました。これまで先進的に取り組んでいる八戸市、青森市を視察した際、利用された方々から多くの感謝の言葉が寄せられていることをお聞きし、市民サービスの最も大切な取り組みであるお悔やみ窓口の開設に向け、着手すべきとの思いを強くしたところです。本市のご見解をお伺いします。</p> <p>2. 「香害」へのさらなる周知啓発について</p> <p>「香害」への周知啓発については、環境省や消費者庁などの省庁が連名で作成・発行しているポスターを掲示し、市のホームページでも周知啓発の取り組みをさせていただいているところですが、先般、香害で苦しんでいる当事者を講師にした研修会を受講した際、教育現場や医療機関、福祉分野においても周知してもらいたいとの強い要望があったことから、さらなる周知啓発についてご見解をお伺いします。</p> <p>3. がん患者への医療用補正具購入費の助成について</p> <p>がん患者の治療や社会参加の両立を支援し、療養生活の質の向上を図るため、ウィッグや胸部補正具の購入費を助成して欲しいとの切実な声が届いています。身体的にも精神的にもつらい中で、患者の経済的負担が大きいことを考えると助成すべきと考えます。本市のご見解をお伺いします。</p> <p>4. 将来の妊娠に備える「プレコンセプションケア」の推進について</p> <p>「プレコンセプションケア」とは、女性やカップルを対象として将来の妊娠のための健康管理を促す取り組みであり、将来の不妊のリスクを減らし、健やかな妊娠・出産や生まれてくる赤ちゃんの健康にもつながります。国においても体制整備を図るとしており、相談支援や情報提供をすべきと考えますことから、推進に向けてご見解をお伺いします。</p> <p>5. 三沢市大空ひろばの遊具について</p> <p>三沢市大空ひろばに設置されている遊具が現在、使用禁止になっています。県立三沢航空科学館とともに子どもたちの人気スポットであり、子育て世代の皆さんも早期の再開を待ち望んでいます。そこで以下の2点をお伺いします。</p> <p>(1) 遊具の使用再開に向けて、これまでの検討状況をお伺いします。</p> <p>(2) 新設となる場合には、インクルーシブ遊具の設置を計画に盛り込むべきと考えます。現時点でのご見解をお伺いします。</p>

質問方式 一問一答 質問時間 10分

質問事件	質問の要旨
行政問題	<p>1. 地域おこし協力隊の活用について</p> <p>年々、当市の人口が減少する中で、市外からの移住者を増やす施策が求められる。地域おこし協力隊は、都市地域から過疎地域等に住民票を異動し、地域おこしの支援などを行い、その地域への定住・定着を図る制度で、令和4年度は1,118自治体で活用されている。隊員の活動ミッションを農林水産業への従事や特定分野での起業などに設定することで、地域で不足している人材を募集することも可能である。</p> <p>地域おこし協力隊が有効な移住施策になると考えるが、当市のご見解を伺う。</p> <p>2. 観光PRの為の調査について</p> <p>新型コロナウイルスの影響で落ち込んだ観光需要が回復しつつあり、アフターコロナに向けたインバウンド対応など、当市の観光の可能性を探ることが求められる。</p> <p>観光PR施策を検討する際に、既に観光で訪れている方に対して、当市に訪れた理由を細かく知ることによって当市の隠れた人気スポットなどを探ることが可能であると考えます。</p> <p>当市の観光に関する調査の実施状況について伺う。</p>

質問方式 一問一答 質問時間 20分

質問事件	質問の要旨
<p>有機フッ素化合物問題について</p>	<p>東京・多摩地域や沖縄などで有機フッ素化合物（PFAS）による汚染が社会問題となっている。当市でも昨年1月に米軍基地から有害物質である有機フッ素化合物の流出が発生、現在もその濃度について定期的に調査を継続している。そこで次について伺う。</p> <p>(1) 5月に7回目の調査を行っているが、調査報告のみで、有害物質の除去などの対策が講じられておらず、その影響なども検証されていない。今後の対応策について伺う。</p> <p>(2) 令和2年から当該化合物を水質管理目標設定項目にすると、国から通達されている。当市における水道水、下水、汚泥などの水質確認の状況を伺う。</p>
<p>マイナンバー制度について</p>	<p>健康保険証を廃止してマイナンバーカードに一本化するマイナンバー法等改定案が強行成立された。これまで、マイナンバーカードを巡っては、さまざまなトラブルが続発していることから、不安の声がひろがっている。そこで、次について伺う。</p> <p>(1) 現在のマイナンバーカードの申請者数とカード利用状況について伺う。</p> <p>(2) トラブル防止にむけた当市の対策について伺う。</p>
<p>物価高騰対策について</p>	<p>1. 物価・エネルギー価格高騰対策として、十和田市は全市民へ5千円分の商品券を支給、野辺地町では、住民税課税世帯に現金2万円を支給するとしている。</p> <p>そこで、当市における物価高騰対策の事業計画について伺う。</p> <p>2. 水道料金の基本料金の無料化が好評であったことから、再度実施すべきと思うが、当市の見解を伺う。</p>
<p>学校給食費無償化について</p>	<p>全国的にも学校給食費の無償化が広がりつつあるなか、国も宮下新県知事も給食費の無償化への取り組みに前向きではあるが、その実現性については、不透明である。国・県の動向待ちではなく、三沢市が先導して給食費の無償化に取り組み、子育て支援につなげるべきと考える。当市の見解を伺う。</p>

質問方式 一問一答 質問時間 20分

質問事件	質問の要旨
政治姿勢問題	<p>小檜山市長は、去る6月4日、無投票により三沢市長選挙当選、2期目の市政運営を負託されました。「未来へつなぐ 心安らぐ 国際文化都市」の達成のため、8項目の柱とそれに伴う24項目の目標数値を示した政策集「マニフェスト next 2027」を掲げ、今後どのように実行されていくのか、市長の政治姿勢・市政運営に注目、期待が持たれております。そこで次の5点について伺います。</p> <p>(1) 政策集「マニフェスト next 2027」について、第二次三沢市総合振興計画後期基本計画との関連を踏まえ、市民の負託にどのように応えていくのか</p> <p>(2) 「みさわ子どもしあわせ憲章」の趣旨を具体化するための事業を積極的に実施するための子ども・子育て支援にかかる、現状と今後の方針・計画について</p> <p>(3) 「あおもりグローバルアカデミー」にかかる、現状と今後の方針・計画について</p> <p>(4) 三沢基地内大学県民就学推進事業にかかる、現状と今後の方針・計画について</p> <p>(5) 「つくり育てる漁業」の推進について</p>

質問方式 一問一答 質問時間 10分

質問事件	質問の要旨
<p>行政問題</p>	<p>2期目を迎えた小檜山市長の「小檜山よしのり政策集」から次の2点について伺います。</p> <p>(1) 都市インフラについて</p> <p>① 「三沢空港については羽田線の4便化・名古屋便の開設を目指します。」としていますが、名古屋便の需要と効果について伺います。</p> <p>② 三沢空港の航空路線の民間利用枠は7便までと伺っていますが、現在の6便から8便への路線拡大への考えについて伺います。</p> <p>(2) 雇用の場について</p> <p>① 「企業誘致については、これまでの製造業中心から、業種・業態を問わず雇用が期待できるすべての分野に転換します。」とありますが、これからの展望について伺います。</p> <p>② 「教育の充実」では、「生徒が英語や異文化に触れる機会を磨き上げ、あるいは創出し、グローバル社会に対応できる人材を育てます。」とあり、また「国際感覚」では、世代別の研修などを通してグローバル社会に対応した人材育成がされると感じますが、三沢基地以外でも国際感覚が生かされた職場環境の整備や企業誘致をするべきと考え、当市における検討状況について伺います。</p>